



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2017.3月号



五人囃子(笛)
昭和16年



内裏雛(男雛)
大正15年



内裏雛(女雛)
大正15年



三人官女
昭和28年

春期特別展

女の子と男の子のお雛さま

ひな

～桃と端午の節句人形～

5月7日(日)まで開催中



加藤清正
昭和15年頃



金太郎
昭和3年



胡蝶舞
昭和3年



神功皇后
大正3年

わたしたちに会いに来てください

雛とは小さくてかわいらしいものを表すことば。だから男の子の五月人形もお雛さま。雛壇に飾られた小野小町や舌切り雀などの人形もみんなお雛さま。江戸から昭和のお雛さまを見ていると、じつに多種多様な人形がお節句に飾られていたことがわかります。それぞれが女の子、男の子の健やかな成長を願って初節句に贈られ、飾られてきた人形たちです。

堤静夫・真理子氏の豆雛コレクション500組を加えれば、特別展で飾られる人形の総数は優に1,600体を超えます。人形は顔がいのちです。お雛さまの顔や衣装など細かいところに注目すれば、展示がますますおもしろくなると思います。ぜひじっくりとご覧ください。

雛人形の移り変わり

館蔵の雛人形では、江戸時代のものと推定される享保雛と、御道具箱に元治2年(1865)の墨書銘のある芥子雛が最も古いものです。享保雛は能面のような顔立ちが特徴の大きな雛人形です。江戸中期には、ぜいたくを戒めるために八寸(約24cm)以上の大きな雛人形の販売を禁ずるお触れがたびたび出され、その反動で江戸後期に小さな芥子雛が流行します。明治時代は大型の内裏雛が特徴で、豪壮な印象があります。大正時代になると、屋根のない御殿飾りが流行し、雛人形が小さくなっていきます。その一方で雛壇に飾る人形の数が増え、内裏雛に三人官女、五人囃子、隨身、仕丁という十五人揃いの雛人形がみられるようになります。

昭和初期の御殿は屋根付きになり、雛人形はますます小さくなります。定番となった十五人揃い以外の様々な浮世人形、舞踊人形が数多く飾られていたことも、昭和初期以前の雛飾りの特色であり大きな魅力です。昭和10年代は御殿飾りはみられず、五段や七段の屏風段飾りが主流になります。昭和20年代は再び御殿飾りが流行し、これにガラスケース入りの舞踊人形が付随します。昭和30年代以降は豪華な七段飾りが流行し、雛人形が大きくなります。平成の現在はコンパクトな雛飾りが求められ、内裏雛一对の親王飾りや三段飾りが主流になっています。

春期特別展「女の子と男の子のお雛さま ～桃と端午の節句人形～」関連行事

1. 記念講演会 会場は講堂 参加自由(定員60名、先着順)

◇「相模の節句行事」 講師：浜野達也(平塚市博物館学芸員) 3月25日(土) 13時30分～15時

◇「節句人形の魅力」 講師：林直輝氏(吉徳資料室長) 4月8日(土) 14時～15時30分

◇「雛祭りと端午の節句」 講師：大島一敏氏(東玉人形の博物館副館長) 4月30日(日) 14時～15時30分

2. 展示解説 3月5日(日)、4月2日(日)、4月16日(日)、5月6日(土) 13時～13時50分 参加自由

* 4月1日(土)から5月7日(日)まで寄贈品コーナーで「五月人形展」を開催します。

相模川流域ジオツアー入門

相模川流域の地質や地形、そこに根付いた人々の文化や歴史について、直接その目で観察することで学ぼうという本企画も、今年度は今回で最後。江の島から藤沢市片瀬の龍口寺までを歩きます。江の島の地層や段丘地形がいつどのようにできたのか、相模川とどのような関係にあるのか、いつから江の島に人が住んでいたかなどを見てみましょう。

第4回「江の島と相模川の関係」

行き先 : 藤沢市江の島～藤沢市片瀬 龍口寺

実施日 : 3月19日(日) 午前9時～午後4時

参加申込 : 往復はがきに行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申込みください。

締切 : 3月8日(水) (当日消印有効)

定員 : 20名 (応募多数の場合抽選)

備考 : 雨天時中止



鵜沼海水浴場からみた江の島。平坦なてっぺんやV字状にえぐれた谷などの地形にはどんな意味が？



江の島南西海岸にある、稚児ヶ淵とよばれる崖からみた夕日。稚児ヶ淵からの展望は、かながわの景勝50選に選定されている。

☆☆3月のプラネタリウム☆☆

3月は一般投影や幼児投影以外にも様々な投影が行われます。ぜひ足をお運びください!

雑貨団シアトリカル・プラネタリウムmission.35 宇宙でチョコは食べられます

毎春恒例!



演劇+映像+プラネタリウムの方程式が生み出す、雑貨団のオリジナル作品シリーズ、シアトリカル・プラネタリウム。今回のテーマは宇宙における“初めて”!?シュールでコミカルに展開するストーリー、ご期待ください!

●日時:3月31日(金) (1)14時30分~ (2)18時30分~

●場所:プラネタリウム室(全席自由席)

●申込:博物館まで電話申込

(3月10日(金)10時より受付開始;定員になり次第終了)

●定員:60人

●観覧料:200円(18歳未満・65歳以上無料)

あの日を忘れない

3.11 東日本大震災祈念プラネタリウム 星空とともに

同時投影:3.11 東日本大震災の記録~岩手県南部沿岸地域の3年間
2011年3月11日...東日本大震災発生。そのとき仙台の夜空に普段見ることができない満天の星が広がっていた...。仙台市天文台が制作した震災時の星空とそのときの人々の想いを題材にしたプラネタリウム番組を、震災から6年となる今年も投影します。

●日時:3月11日(土)・12日(日)15時30分~ ●場所:プラネタリウム室(全席自由席)

●定員:70人(先着順) ●観覧料:無料(当日9時より1階受付で整理券を配布します)



寄贈品コーナー展示

平塚の太陽観測と最新の太陽像

会期:3月1日(水)~3月30日(木)



博物館で撮影した2016年4月12日の太陽

平塚市博物館では開館以来、40年間にわたって太陽の黒点のスケッチ観測を続けてきました。日本も太陽観測衛星を打ち上げ、世界の太陽研究をリードしています。現在、運用中の太陽観測衛星「ひので」も打ち上げ10周年を迎えました。それらの観測成果を紹介します。

情報コーナー展示

ひらつか星空調査隊 3年間の歩み

会期:3月4日(土)~5月7日(日)

平塚市とその周辺の“光害”の状況を調べるために、2014年度に結成された「ひらつか星空調査隊」。その3年間の成果を展示します。合わせて、なかなか知られていない光害についても解説します。平塚ではどこで星がよく見えるの? そもそも光害って何? ひらつか星空調査隊の調査結果を見ながら、光との上手な付き合い方を考えてみませんか?



展示では“いい照明”についても考えます

2016年度ひらつか星空調査隊活動報告会&講演会「光害から自然との共生を考えよう」

講師:越智信彰氏(東洋大学准教授) 3月26日(日) 15時30分~17時 講堂 参加自由 定員50名(先着順)

Calendar table for March with columns for date, day of week, event name, and location. Includes events like '展示解説ボランティアの会' and '春期特別展 展示解説'.

Calendar table for April with columns for date, day of week, event name, and location. Includes events like '星を見に行こう! 星空観察入門講座' and '春期特別展 展示解説'.

【プラネタリウム】定員：70人 観覧料：200円 (18歳未満・65歳以上無料)
○観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。
○全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退出はできません。
☆プラネタリウム一般向け番組「銀河鉄道の夜」
投影日時：4月2日(日)までの土・日曜日の午前11時、午後2時 (3月11日(土)、25日(土)の午前11時の回を除く)
☆プラネタリウム幼児向け番組「ほしみるおじさん」
投影日時：3月11日(土)、25日(土)の午前11時
☆3.11 東日本大震災祈念プラネタリウム「星空とともに」 詳細は3ページ
☆星空と音楽の夕べ「木管のひびき・金管のかがやき」
投影日時：3月18日(土)午後4時
☆雑貨団シアトリカル・プラネタリウムmission.35「宇宙でチョコは食べられます。」
詳細は3ページ

☆：プラネタリウム投影日 ○：申込制行事 ◎：参加自由 無印：年間会員制
春期特別展関連行事 詳細は2ページ
【自由参加の行事】
◎ワークショップ「綿(わた)で遊ぼう」
日時：3月5日(日)午前10時～12時、午後1時～4時(時間内の出入りは自由です)
場所：博物館1階 科学教室 / 備考：混雑時にお待ちいただくことがあります。
◎星を見る会「月面Xを見よう」
日時：3月5日(日)午後7時～午後8時30分 / 場所：博物館1階 科学教室・屋上
◎天文学入門講座「太陽系と惑星」第10回「惑星たちの身体測定」
日時：3月18日(土)午後3時30分～5時(開場は午後3時15分)
場所：博物館1階 講堂 / 定員：50人(先着順)
◎ろばたばなし
日時：3月19日(日) (1)午後1時20分 (2)午後3時 / 場所：常設展示室1階 相模の家
◎平塚郷土史入門講座 第3回「相模川・相模湾の水運と須賀の繁栄」
日時：3月26日(日)午前10時30分～12時(開場は午前10時15分)
場所：博物館1階 講堂 / 定員：50人(先着順)
◎ひらつか星空調査隊 活動報告会&講演会 詳細は3ページ
◎星を見に行こう! 星空観察入門講座① ～星の情報を得る～
日時：4月1日(土)午後3時30分～午後4時30分(開場は午後3時15分)
場所：プラネタリウム室 / 定員：50人(先着順)
【申し込み制の行事】
◎野外観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門第4回 江の島と相模川の関係」
詳細は2ページ

あなたと博物館 44巻12号 通算483号 発行 平塚市博物館 2000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949
ホームページ http://www.hirahaku.jp/

3月の休館日：6日、13日、21日、27日